

ご提言内容と回答

大崎市民病院

患者サービス改善推進委員会

ご提言をいただき、ありがとうございました。ご提言について、次のとおり回答いたします。

ご提言内容

私は以前、緊急帝王切開手術で第一子を出産しました。先生方、看護師さん、助産師さん皆さんに良くしていただき、大変感謝しております。

しかし、入院中は出産の疲れや手術の痛み、後陣痛で起き上がるのも大変な状況の中、2日後には母子同室となり、術後の痛みをこらえておむつ交換をして、寝る時間を削りながら搾乳を行い、本来であれば体力の回復につとめなければならないときに、身体を休めることはできませんでした。退院後、周囲の協力により大事には至らなかったものの、私は体調を崩しました。

病院としては、少しでも赤ちゃんのお世話に慣れ、出産後に困る事が無いようにしているのだと思いますが、難産の人や帝王切開で出産した人、高齢出産で体力が無い人などを含めて、全ての人に同じ対応をするのは間違っていると思います。

どうか入院中のお母さんが身体を休める時間を取れるように（気軽に赤ちゃんを預けられるように）してあげてください。

産科の入院システムが変わるよう強く願います。よろしく願います。

回答

このたびは配慮に欠けた対応をしてしまい、大変申し訳ありませんでした。

ご提言をもとに、母乳育児支援についてスタッフに問題提起をして、話し合いを行いました。その中で、「お母さんの大変な気持ちを推し測ることができず、産後も看護スタッフ主導のケアで進めたため、退院後まで辛い思いをさせてしまった。」という反省の言葉がありました。また、母子同室中であってもお母さんの体調に合わせて赤ちゃんを預かり、休息を取ってもらうなどの対処が必要であったにもかかわらず、そのような声かけもできていませんでした。

今後はお母さんの体調の回復を確認したうえで、母子同室のタイミングを相談して決めたり、母子同室中であっても、いつでも赤ちゃんをお預かりできることを説明していきたいと思えます。

お母さんの気持ちに寄り添い、配慮のある看護を提供できるようにスタッフ一同取り組んでまいります。

御礼・感謝のお言葉もいただき、ありがとうございました。

- 医師、看護師、技師の方々、清掃スタッフの方も皆さんとても親切で、説明等も丁寧で感じが良かったです。
- ボランティアの方がとても親切にしてくださり、心がいやされました。



お寄せいただいたご意見は、院内で検討し患者さんのサービス向上に努めてまいります。